

発行所：コミュニティガーデン百合が丘
 発行者：百合が丘広報誌担当職員

カルチャー教室 特集

クリスマスに関連するカルチャー教室を
 特集いたします♪

北欧風オーナメント

12本の細い紐が接着してできているクラフトバンドを使い、オーナメントを作成しました。

長さや幅を変えて、様々な大きさのおしゃれな飾り物ができました。



フェルトで小さなクリスマスツリー

フェルトを使用し、温かみのあるクリスマスツリーを作りました。

ビーズやカラフルなリボンなどで飾りつけました。

ご利用者様の個性があふれるクリスマスツリーが完成しました。



粘土で クリスマスツリー

紙皿で作ったツリーの土台に、粘土を付け、飾り付けをしました。

粘土をつけるのに手こずったようで、でこぼこでも木らしくなるとお声掛けすると安心した様子でした。



砂で雪の結晶

土台に、のりで雪の結晶の形を作り、線上に砂をかけると、雪の結晶の形になるというものです。

砂の使い方や発想に驚く声が聞かれました。雪だるまやクリスマスツリーも添え、美しい砂の冬景色を作りました。

ゆび編み クリスマスリース

毛糸を、指を使って輪になるように編んでいきます。最初は、編み方に苦戦しましたが、慣れてくるとあっという間に編み上がってしまいました。



毛糸リース

ドーナツ型に切ったダンボールに毛糸を巻き、リボンなどを装飾しました。皆様、飾りのレイアウトを楽しみながら考えていました。



ビーズでリース

緑と金のフラワービーズを使用し、リース風に仕上げました。

ビーズを通す順番を書き出したものを用意したところ、間違えずに通すことができました。



クリスマスリース

木のリースに葉、ポインセチア、松ぼっくり等の素材をワイヤーやグルーガンで取り付けました。見本通りでない、個性あふれるものになりました。

小さな クリスマスツリー

クリスマス柄の布を円錐型に切り、中に綿を詰めて縫います。ビーズやブレードで飾り付け、ワイヤーで渦巻き状にしたものをさしこみました。

ゆらゆらと動くツリーが完成しました。



クリスマススワッグ 作り



スワッグとは、ドイツ語で『壁飾り』という意味で、リースと並んでクリスマスの伝統的な飾りとなっています。松ぼっくりにワイヤーをひっかけて吊るす際、向きや場所など皆様それぞれの感性の赴くままに作り上げていました。

シンプルでインパクトのある素敵な作品になりました。



お食事付き あじさいツアー

7月号掲載

6月28日(木)に、「保和苑」にて、あじさい見学をしました。色とりどりのあじさいは美しかったです。

お昼は「蕎麦処みかわ」にて美味しい蕎麦を堪能しました。



夏祭り!

8月号掲載

8月19日(日)に、夏祭りを開催しました。

今年は、黄色と緑色のオリジナルタオルを販売し、好評でした。

出し物では、ソーラン節が1位を獲得。豪快な舞を披露しました。



6周年イベント!

11月号掲載

記憶にも新しいとは思いますが、11月11日(日)に、6周年イベントを開催しました。

記念イベントでは欠かせないマグロの解体ショーや、職員による出し物で、盛り上がりを見せました。



振り返ってみると、たくさんの思い出があふれた1年でした。

今年も大変お世話になりました。来年も、どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

12月は師走と呼ばれていますが、一説によれば、お坊さんが走り回るほど忙しい時期であることが由来とされています。普段は厳かな雰囲気をもったお坊さんが走り回る光景を想像すると、せわしなさが伝わってきます。

忙しいと言いつつ、年末には楽しみな行事が満載です。

もちつきを行う由来をご存じでしょうか?調べてみると、歳神様をお迎えする準備という意味があるようです。歳神様は鏡餅を居場所とするといわれており、もちつきは鏡餅を準備する為に行われるという説があります。また、新年だけでなく、おめでたい時にはもちつきをする慣習が残っている所もあるようです。確かに、端午の節句の柏餅、桃の節句の菱餅というように、もちが登場していますね。おもちを食べる機会が多くなりますが、くれぐれも食べる時には注意をして下さいね。

突然ではございますが、今月号をもちまして広報誌の担当者が変わります。つたない文章を愛読して下さいました皆様、ありがとうございます。来月からも、ご愛顧の程宜しくお願い致します。

担当…石井